



パイズリ捜査官VSパイズリレイパー2



前回、女性の乳を犯す凶悪な性犯罪者『パイズリレイパー』を逮捕した  
性犯罪専門捜査官『陣内麗子』

しかし二年後。パイズリレイパーは刑務所から脱獄……

麗子は新人捜査官見習い通称『後輩』と共にパイズリレイパーを追う

だが……

そうだ♡ゆっくり手を後ろに回せ♡  
変な気を起こすなよ？

犯人「久しぶりだなあ♥女捜査官さん♥」

麗子「……」

おん  
おん

おん  
おん

性犯罪専門特別捜査官

陣内麗子(27)



脱走犯  
連続パイズリ強姦魔  
通称『パイズリレイパー』

犯人「しかしアンタも焼きが回ったなあ♡

以前のアンタは孤高故に隙がなく手強かったが  
こんなお荷物抱えちまうとはなあ♡  
役立たずの後輩をもって大変だね女捜査官さん♡」

麗子「……」

犯人「俺が要求する事はわかってるよな？

なんでわざわざ俺が脱獄したのか……  
理解してるはずだ……賢いアンタなら♡」

麗子「……好きになさい」

性犯罪専門特別捜査官見習い  
麗子の後輩

犯人「ハアハア♡やっぱアンタは利口だな♡ふへっ♡」

麗子「そのかわり後輩には手を出さないで」

おん

おん

犯人「心配するな♡アンタが俺をしつかり楽しませてくれさえすれば  
あんな男に用はない♡ハアハア♡」



犯人「うほおおおっ♡」

犯人「きたきたきたっ♡」

ぶっ  
おん

ぶっ  
おん

犯人「凄いっ♥凄いっ♥でか以前の倍くらいデカくなつてねえかつ!!  
更にドスケベになりやがつてっ♥このメスっ♥  
よりパイズリに特化した大きさになつてやがる♥ハアハア♥  
パイズリすぎてパイズリ向けに進化したのか!!  
まるで環境に適応する為進化し続ける生物の神秘のようだッ♥」

麗子「下らない」と言つてないで早く済ましたらどうかしら…?」

犯人「悪い悪い♥二年ぶりに女の…しかもこんな極上のデカ乳を見たんだ  
つい興奮しすぎちゃつてよお♥ハアハア♥」



後輩「ん……んん……」

「こゝは……どこだ……？」

そうだ……！僕は先輩に良いところを見せたくて  
刑務所から脱走したパイズリレイパーの  
アジトらしき倉庫に単独で忍び込んで  
それで……」



後輩「そう……奴を発見したはいいけど  
返り討ちにあってしまっで……」

くそ！情けないっ！！

尊敬する麗子先輩に早く一人前だと認めてもらいたくて  
勝手に動いたあげくボコボコにされちまうなんて……！！

く……！なんだ……!?動けない……!?

カラダを縛られたのか……！！

ん……?なんだ……?この音は……?」







犯人「これこれえ♥これだよっ♥  
やっぱアンタの乳は絶品だぜ♥  
これが忘れられなくて獄中でもアンタの事を想いながら  
独り寂しくシコってたんだぜ〜♥罪作りの魔乳だぜ♥」

麗子「あらそう・・・私は貴方の粗末なモノの事なんて  
すっかり忘れていたけどね」

犯人「ふひっ♥その気の強さも愛おしいぜ〜♥」

後輩「な・・・っ！な・・・っ!!!」



後輩「なにやってんだ  
キサマアアアアッ!!!!」

犯人「おっ♥後輩くん起きたかあ♥  
君が吞気に寝てる間に先輩のデカ乳ゴチになってまーす♥」

後輩「ふざけるなああああッ!!!!  
先輩から離れるキサマアアアアッ!!!!」



麗子「感情的になるのはやめなさい  
この程度私は平気よ・・・」

犯人「いやあ君の先輩のパイズリめっちゃ気持ちいいぞ♥  
なんなら後輩君にも使わせてやろーか？  
俺が終わったあとでなあ♥  
おっ♥イキそ・・・っ♥」

後輩「うあああああっ!!!!  
やめろおおおおっ!!!!」





犯人「おおふっ♥ぎもちいい〜♥  
あ、ごめん♥顔にかかつちゃった♥」

後輩「殺してやるっ!!  
殺してやるううううっ!!!!」

犯人「あ、ちょっと射精に集中させて♥  
生意気な女を精液便所にしてやったっていう  
勝ち誇った良い気分になりたいからさ♥」



犯人「はゝッ♥気持ちよかった〜♥

てか後輩君、腐っても警察官でしょ？

殺してやるなんて言っちゃ駄目よダメダメ♥」

後輩「クズ野郎おおおおっ!!

許さないっ!!絶対に許さないっ!!」

犯人「あ、そうか♥さっきのがレイプに見えたんだ？

悪かった悪かった♥だったら今度は君の大好きな先輩に

自分からご奉仕してもらおうかな〜♥

先輩自らの意思でやるなら問題ないっしょ？(笑)」

後輩「なに言ってるんだ貴様!!」

犯人「ほら先輩♥今度は自分で俺のチンポを扱けよ♥

あのパイズリテクニクが健在か試してやるぜ♥

はあはあ♥二年前のあの夜を思い出してまた勃起してきたぞお♥」

麗子「・・・」

後輩「このクズがつ!!先輩が抵抗できないのをいい事にっ!!

僕がこのレイプ魔に銃さえ奪われてなきや・・・っ!!くそおおおっ!!」

犯人「ハアハア♥すげえ♥ハアハア♥最高だツ♥

パイズリテクニクは健在…いやパワーアップしてやがる♥  
俺と別れてから一体何人のチンポを扱ってきたんだあ？おい？」

麗子「くだらない質問ね…」

後輩「くそお！くそお！先輩になんてことを…っ！

なんてことさせるんだあ!!許さない!!許さないぞ!!」

犯人「おいおい嫉妬かあ？君も頼んでみたら？ヤラしてくれるかもよ？ぎやはははっ♥」





麗子「いたずらに私の後輩を刺激するのはやめてもらえるかしら…」

犯人「ふひひっ♥だってよく♥こいつ口ではあんなこと言っ  
てチンポギンギンにおっ勃ててんだぜ(笑)」

後輩「ちっ、違う!!これはただの生理現象だっ!!

尊敬する先輩を性的な目で見るわけが…っ!!」

麗子「いちいち挑発にのらないっ!!  
少し黙っていなさい!!」

後輩「せ、先輩……!」

犯人「ぎやははは!叱られてやんの!!笑えるぜ!

レイプ魔を糾弾して怒られるとか可哀想な後輩君♥」





麗子「無駄口をたたいてないで股間に集中したらどうかしら……  
またすぐに自分で自分を慰める毎日に戻るのだから」

犯人「また刑務所送りにしてやるってかあ？」

麗子「ええ。今のうちに女の肌の温もりでも堪能しておくことね」

犯人「どこまでも気の強い女だあ♥ふひっ♥

やっぱリアンタは最高の女だぜっ♥ハアハア♥

一生俺のパイズリオナホとして飼ってやるからな♥」

後輩「クソ野郎があ……っ!!」



麗子「くだらないお喋りはこれまでだよ」

犯人「おおっ!?」

すーちゅ♡

すーちゅ♡

すーちゅ♡

すーちゅ♡

すーちゅ♡

すーちゅ♡

犯人「おっ♡あふっ♡きゅ、急にッ♡  
今までは本気じゃなかったのかったら!! おおふっ♡」

麗子「……ふん」





犯人「ハアハア♥とんでもねえ女だあ♥  
「こんなんすぐに出ちまうっ…っ♥ふっ♥ふっ♥」

後輩「までっ!!また先輩のカラダに汚物をぶちまける気かつ!」

犯人「ああ当然だッ♥このままぶちまけてやるっ♥

俺のザーメンで綺麗な女を汚す快感っ♥

この世で一番の幸せだあっ♥ハアハア♥」

麗子「出すなら好きにどうぞ…」

貴方の役立たずな精液、無駄撃ちなさい」



犯人「くおっ♡」

後輩「くそおおおっ!!」

ドッ!

ドッ! ドッ!

ドッ!





犯人「ふほっ♡フハハハハハッ♡見ろよ後輩君ッ♡  
大好きな先輩の卑猥なデカ乳が汚いザーメンで見るも無残な姿だぜッ♡」

後輩「あ……ああ……あ……」

麗子「……」

ドオオ。。



卑劣な男の精液で汚された先輩の姿を見て僕は……

まるで精通直後の思春期の少年のように  
激しく性的興奮していた……

ロオオ。。

犯人「わかってるぜえ後輩君♥

お前……この女とやりたいんだろお？  
ヤラせてやるよ♥いまこの場で♥」

後輩「なっ!？」

犯人「オラッ♥服脱げ後輩君♥裸になるんだよっ♥」

後輩「ふざけるなっ!!そんな事が出来るかっ!!」

犯人「おいおい立場がわかってないのかよ？

間抜けな君から奪ったこの銃で

先輩を痛い目にあわせてやってもいいんだぜえ?」

後輩「げっ、外道がっ!!」

後輩「これで満足かつ!!」

犯人「くははっ♥やっぱ勃起してんじゃねーかつ!

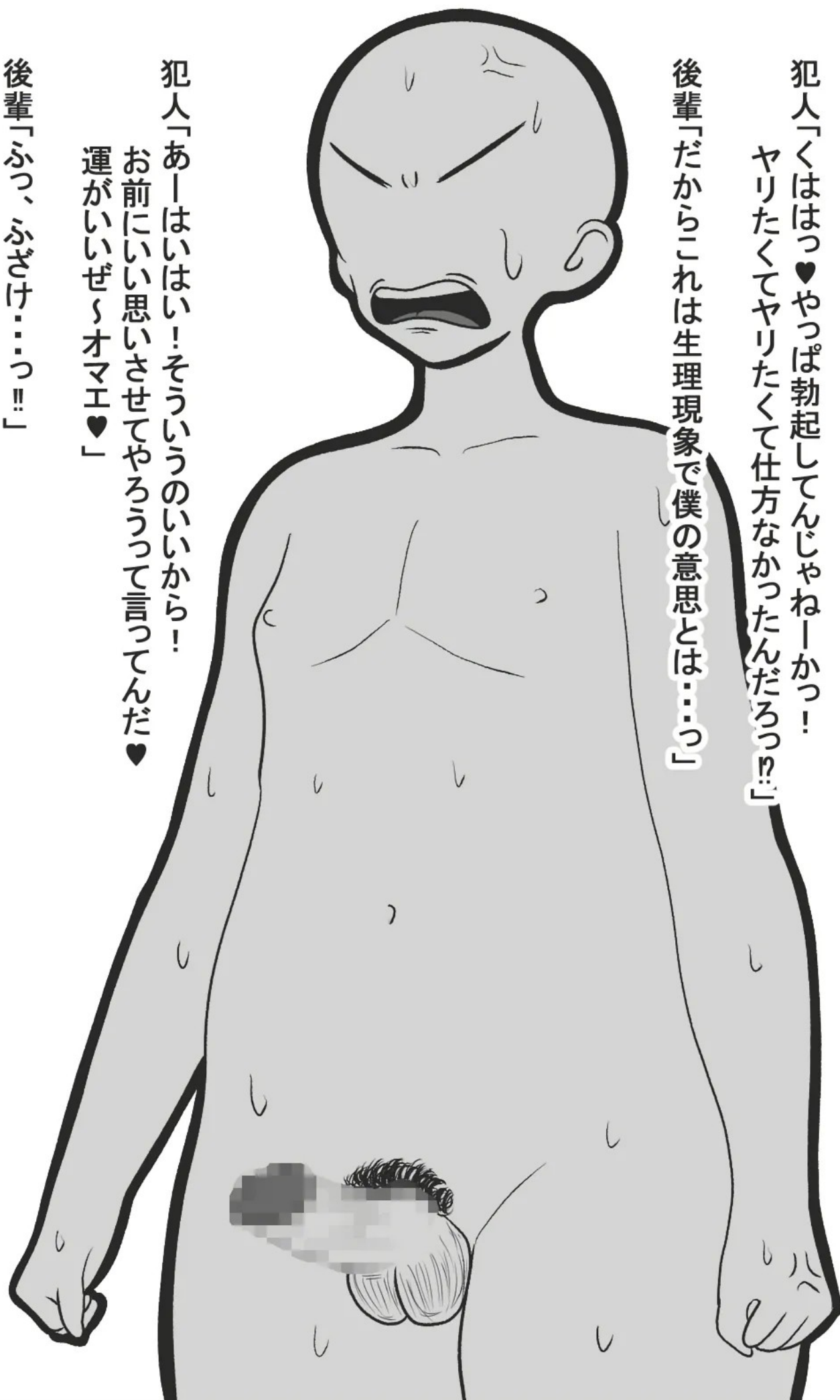
やりたくてやりたくて仕方なかったんだろっ?!!」

後輩「だからこれは生理現象で僕の意味とは…っ」

犯人「あーはいはい!そういうのいいから!!

お前にいい思いさせてやろうって言ってた♥  
運がいいぜ〜オマエ♥」

後輩「ふっ、ふざけ…っ!!」





犯人「見ろよこの女のドスケベな乳を…♥

こんなもん生で見せられて発情しないオスはいねえ♥  
警察官だって人間だ♥恥じることはねえさ♥」

麗子「……」

犯人「お前は俺に銃を突きつけられ脅されて嫌々この女を犯した…

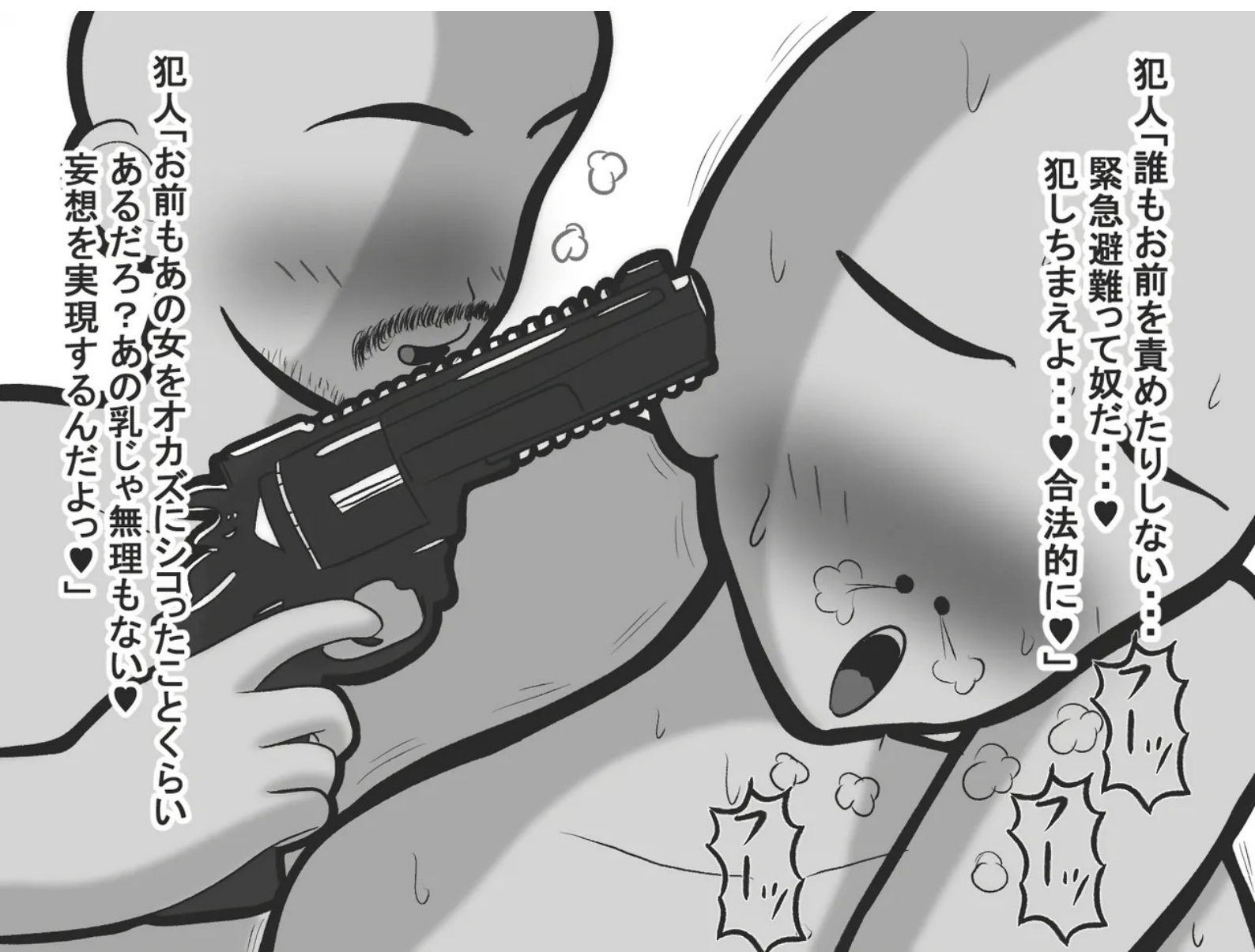
三人の命の為にな…仕方なくだ…お前が望んだことじゃねえ  
そういうおあつらえ向きの建前を用意してやったんだぜえ♥」

後輩「はあはあ！はあはあ！はあはあ！（「くりこ」）」

ドスケベ

犯人「誰もお前を責めたりしない……  
緊急避難って奴だ……♡  
犯しちゃえよ……♡合法的に♡」

犯人「お前もあの女をオカズにシコったことくらい  
あるだろ？あの乳じゃ無理もない♡  
妄想を実現するんだよっ♡」



後輩「先輩……っ！俺……っ！俺……っ！！」

麗子「いいわ……やりなさい」

後輩「先輩っ!？」

麗子「拒否すればお互い助からない……

いまは言う通りにするしかないでしょう  
大丈夫……私はこういうのには慣れているから」

後輩「ふっ♡ふっ♡そうだったこれは生き残るためっ♡

先輩のためなんだっ♡やるしかないんだっ♡  
決して性欲に負けたわけじゃないっ♡ふっ♡ふっ♡」



麗子「その前に奴の汚物を拭いてもらえる……？」

後輩「はっ、はひっ♡」

後輩(い、いまから……この乳を……ハアハア♡  
この乳で……っ♡ハアハア♡僕はッ♡ハアハア♡)

トロォォ



後輩「失礼します先輩っ!!」

にー  
にー  
にー  
にー  
にー

犯人「ギャーはっはっ！」

ホントにやりやがったっ！

ほらほら腰を振れよ後輩君！」

後輩「ああっ♥先輩の爆乳にチンコが

飲み込まれてっ♥気持ちっ♥

ごめんなさい先輩っ♥」

麗子「……いいわ……振りなさい」

後輩「ひゃっ、ひゃいっ♥」





後輩「ああっ♥あああっ♥きつ、気持ち良すぎるっ♥

これが先輩のオツパイっ♥圧倒的肉厚っ♥」

犯人「わかるぜ後輩君♥その女の爆乳は最高だよなあ♥」

麗子「……」

後輩「ハアハア♥しゅっっ♥ハアハア♥しゅっっ♥」

爆乳

爆乳



犯人「あゝあゝ(笑)見ろよ女刑事さん(笑)

後輩くん一瞬で骨抜きにされてるぜ  
凄いよなあアンタのオッパイ♡」

後輩「ふーっ♡ふーっ♡ふーっ♡ふーっ♡」

犯人「ぎやはは♡無我夢中で腰振ってるぜっ(笑)

正義の警察官が快樂に負けてやがる♡  
みつともないアへ顔晒してよく(笑)」

麗子「……」





はっぴー♡

それだけはっ♡

羽精するなんてっ♡

警察官としてそんなことつ

くなくなつてゐるくせに

しやねえよー

「ああつ!?!」

しなさい

奴を捕まえるんでしょ？ チャンスを待つのよ

公ア♡わかりました♡失礼しますっ先輩っ♡

「あぁあつ!!」

「しなさい」

「しゃねえよっ!」

液便所乳マ〇〇の中に  
キ棄てるんだよっ!

大苦大苦大苦

もう……っ♡  
それだけはっ♡  
妖精するなんてっ♡  
警察官としてそんなことっ♡

[illegible]

そう……っ♡  
それだけはっ♡

不審

ふ……っ♡

「ふーっ♡」



後輩「ふぎいつ♡♡♡」

犯人「うへえっ♡出しやがったッ♡

ぎやははははっ♡マジかよッ♡

よかったなあ後輩君ッ♡

極上の乳に乳内射精だっ♡

中々経験できないぜえっ!?

君は幸せ者だっ♡」

後輩「ごめんなしやいつ♡ごめんなしやい先輩っ♡

僕なんかの汚い精子で先輩を汚してしまいましたあっ♡

おおひゃっ♡ハァハァ♡あひっ♡ぎもぢっ♡」

麗子「ooo」

後輩「こんなつ♡ハアハア♡先輩をレイプしてるみたいな体勢ツ♡  
先輩をオナホ扱いしているような体勢ツ♡ハアハア♡」

おちゅ♡  
おちゅ♡  
おちゅ♡

おちゅ♡  
おちゅ♡  
おちゅ♡

おちゅ♡  
おちゅ♡  
おちゅ♡

後輩「なんて命令をするんだっ♡  
悪魔めっ♡ハアハア♡」





犯人「とか言ってホントは興奮してるんだろお？（笑）  
クールで気の強い自分より身分が上の女を  
犯してるみたいでよお♡なあ？後輩君♡」

おちゅ♡  
おちゅ♡

おちゅ♡  
おちゅ♡

後輩「ふっ、ふざけるなっ!!悪党めっ!!」

貴様のような歪んだ性犯罪者と一緒にするなっ!!」



犯人「良い子ちゃんぶってないで本音を言えよ♡」

どうせ日頃この女に扱き使われて  
ストレス溜まってたんじゃねえか!?

本心じゃ鬱憤をはらせてご満悦なんだろう!?

おちゅ♡  
おちゅ♡

おちゅ♡  
おちゅ♡

おちゅ♡  
♡

後輩「黙れっ!!僕は麗子先輩を刑事として心の底から尊敬しているんだっ!!  
こんなことしたくないっ!したくないんだっ!!うっ…っ!!」

麗子「いちいち相手にしない!冷静になりなさい」

後輩「せ、先輩……僕は本当に邪な気持ちなんてこれっぽっちも……!!」

犯人「つまんねーなっ!!おい後輩っ!!」

腰を振りながらその女の悪口を言えっ!!

勿論すべて本音でなあ!さもないと今すぐ二人とも殺すっ!!」

後輩「ふっ、ふざけるのも大概にしろっ!!」

思ってもいない悪口をどう言えというんだっ!!」

麗子「このままじゃ二人とも殺されるわ……!!」

デマかせでいいから私の悪口を言いなさい……!!」

おちゅ♡  
おちゅ♡

後輩「そっ、そんなあ……っ!!先輩……っ!!」

おちゅ♡  
おちゅ♡

犯人「おらどうしたっ!?殺しちゃうぞおっ!?」

麗子「早く……!!」

後輩「……っ!!ごめんなさい……っ!!先輩……っ!!」



後輩「このデカ乳女がっ♥無駄に馬鹿デカイ乳ぶら下げやがってっ!!

この乳のせいで男性刑事事みんな仕事に集中できないんだよっ!  
知ってるか?!みんなこの乳をオカズにシコってんだぜっ!?

特に三日三晩の張り込み中とかにお前が来ると勃起が治まらなくてヤバいんだっ!!  
ムラムラの限界で何度犯してやろうかと思っただことかっ!!」

後輩「証人やら情報屋やら容疑者には平気でパイズリしまくってるくせに

僕たち警察官の仲間には指二本触れさせないとかふざけてんのかっ!?!  
お前のせいでムラムラしてんだから少しは抜いてくれたって罰は当たらないだろ!  
聞いてんのかデカ乳! ああんっ!」

「チュッ」  
「チュッ」

「チュッ」  
「チュッ」



後輩「大体こんな乳ぶら下げてなにが性犯罪専門の捜査官だ！ええっ？！  
お前の存在が公然わいせつ罪だろうがっ！！  
今まで捜査の名目で何本のチンポをこのバカ乳で扱いて来たんだあ？！ああっ？！」

後輩「ただのビッチじゃねえか！パイズリビッチ！  
チンポ大好きなんだろう？！淫乱女っ！！  
だったら毎日僕の性処理道具になってくれないだろ！なあ！  
僕が童貞だからって見下してんじゃねえぞコラ！！」

「チンポ」  
「チンポ」  
「チンポ」  
「チンポ」

後輩「毎日毎日、叱りつけやがってっ！女のくせによお!!

飴と鞭つて言葉知らないのか?!

叱った後は二発やラせろ!! 厳しいだけじゃ今時の若者はついていかねえぞ!!  
飴もちゃんとやる!! それが良い先輩つてもんだろぅが!」

後輩「そもそも僕が捜査中にやらかすのも

このデカ乳に誘惑されて集中できないのが原因なんだから

お前が僕の性処理するのは当然の責任だっ!

そこんとこわかってんのか? おおっ!」

チュッ

チュッ

チュッ

チュッ



後輩「うははははっ♥精液便所にザーメンコキ棄てるの気持ちいいいいいい♥

すました顔に臭いザーメンかけてドロドロにしてやったぜ♥

美人が台無しですわね先輩っ♥平然としてるけどホントは悔しいんじゃないですかあ!!

日頃抜き使ってる軟弱な後輩の臭いが取れなさそうな臭いザーメンで顔汚されて化粧も台無しにされてホントは泣きたいほど屈辱なんですよっ!!」

後輩「安心して下さいっ♥

お似合いですよザーメン乳液っ♥乳だけにねっ♥

あいま僕、うまいこと言いました!アハハハっ♥

思い知ったかコラ!!!これに懲りたらパイズリオナホとして

頑張ってる僕の労を毎日ねぎらえよ!!!いいなオイっ!!!」

オエッ  
オエッ  
オエッ

オエッ  
オエッ  
オエッ



後輩「はっ!!ぼっ、僕はなんてことを……っ!!」

興奮しすぎて我を忘れてしまった……っ!!

うああああああっ!!先輩っ!!「ごめんなさいっ!!」

先輩が精液まみれにいいいいっ!!」

犯人「ぎやははははははっ!!」

最高だよ後輩君っ♡

期待以上だっ♡

笑い過ぎて腹が痛えっ♡」

知っ!!

後輩「先輩っ!! ずいませええんんっ!!」

麗子「……」

犯人「さあ! ボサっとしてんなよっ!!」

次は女刑事さんっ!

アンタが後輩君に奉仕してやる番だぜっ!」

後輩「なっ!? まだ先輩を辱める気なのかっ!」

この鬼畜がっ!! 貴様の血は何色だああああっ!!」

犯人「いやお前が言うな」

スーッ……



後輩「あっ♡あっ♡ああっ♡あっ♡ああっ♡  
先輩っ♡凄いいっ♡これが先輩のパイズリテク♡」

後輩「これが数多の男の口を割らせてきた  
極上のテクニクなのかあっ♡  
気持ち良すぎるっ♡」





犯人「ぎやははははっ！笑えるぜっ！！

警察官同士での青姦パイズリっ♥

お前ら恥ずかしくないのか!?ぎやはははっ!!」

後輩「先輩っ♥先輩っ♥ああっ♥はうっ♥」

麗子「イキたくなったらいつでも出しなさい」

後輩「こ、こんな凄いパイズリっ♥

我慢なんて無理ッ♥すぐに……っイクイク♥  
センパアアアアイっ♥」



後輩「せん……っはっっっ♡」





後輩「ハアハア♥はひ…っ♥す、すこす…ぎ…♥(がくっ)」

犯人「おうおう(笑)幸せそうなアホ面晒して…(笑)

よつぽど気持ちよかったんだらうなあ♥

これが銃突きつけられてる人間の顔かあ?(笑)」

やっぱ

犯人「女捜査官さんよお♥やっぱリアンタも大したタマだなあ

こんな状況でも平然としてやがる。冷や汗一つかいてねえ」

麗子「こんなことをしても無駄だってようやく気づいたのかしら…?」

わかったら大人しくまたお縄につくことね」



先輩っ♡

気持ち良いっ♡

あっ♡

あっ♡

はぁっ♡

はぁっ♡

はぁっ♡

はぁっ♡

はぁっ♡

先輩っ♡

はぁっ♡

はぁっ♡

はぁっ♡

はぁっ♡

はぁっ♡

はぁっ♡

はぁっ♡

はぁっ♡



後輩「ハアハア♥ごめんなさい♥ごめんなさい先輩っ♥  
先輩にこんなことをっ♥させてしまうなんてっ♥  
僕はっ♥僕はっ♥」

麗子「本当に謝ってばかりね貴方は……  
さっき言った事をもう忘れたの？」

犯人「そうだぞお後輩君♥

この俺に感謝しろよお♥  
憧れの先輩のパイズリを味わえるのは  
俺のおかげなんだからなあ♥」

麗子「無視しなさい。生き残るためよ」

後輩「不甲斐ない♥ハアハア♥  
不甲斐ないですっ♥」





奴の言うことは凶星だった……

こんなことでもなければ先輩にパイズリしてもらえる機会など  
ありはしなかっただろうと。役得だと思っってしまった自分がいた……

警察官として失格……いや男として人として最低だ……っ!!

先輩は体を張って僕の命を守ろうとしてくれているのに!!  
酷い奴だ僕はっ!!





犯人「おいおい涙流してるぞ後輩君(笑)

泣くほど嬉しかったのかあ!!

こいつは傑作だ! ぎやはははっ!!」

麗子「警察官ともあろうものが

これしきのことでなに泣いてるの!

しっかりしなさい!」

後輩「うう…自分が情けなくて…っ情けなくて…っ

それなのにメチャクチャ気持ち良くてっ♡

僕は…っ♡僕は…っ♡」

麗子「余計な事を考えないで奴の隙を伺う事に集中しなさい

必ずこの状況を打破するタイミングが訪れるわ

ただ言いなりになっているだけじゃ駄目なのよ」

後輩「せ、先輩…っ♡ 凄い…っ♡

やっぱり先輩は凄いっ♡」

犯人「なにボソボソ喋ってんだ?」

互い責任でもなすりつけあってんのかあ!!  
ぎやはははっ! みっともねえ!」

ズンズン

ズンズン

後輩「先輩っ♡イクイク♡またイキますっ♡」

麗子「いいわ……遠慮なくイキなさい……!」

後輩「失礼しますっ♡  
イグウツ♡」





ぎっ、ぎもぢいいっ♡

不謹慎だけどやっぱぎもぢいいっ♡  
一生ついていきます麗子先輩っ♡

うわっ  
うわっ  
うわっ

うわっ  
うわっ  
うわっ

うわっ

うわっ  
うわっ  
うわっ

うわっ  
うわっ  
うわっ





麗子「下らないわね……」

麗子「こんな事で私に精神的ダメージを与えられるとでも  
思っていたのかしら……？」

めろめろ

めろめろ

めろめろ

麗子「この世界に身を投じた瞬間から貞操観念や羞恥心なんて捨てているのよ」

麗子「犯罪者を捕まえるためなら

女の武器を惜しみなく使ってきた私に  
こんな手は通用しないの」

先非事っ♡

先非事っ♡

めろめろ

めろめろ

めろめろ



麗子「下衆な目論見が外れて残念だったわね」

先非車っ♡

セパミっ♡

あっ♡

あっ♡

麗子「私をそこの小娘と一緒にだと思わないことね」





犯人「うるせえっ！交代だっ！

また俺を気持ちよくしてもらおうかつ！！」

後輩「や、やめ……っ♡」

犯人「ああんっ!?快感で腰を抜かしてる腑抜け野郎は  
いつまでもそうやって横たわってろっ!!」

麗子「……」

おほっ♡ふっ♡

後輩「うう…っ!!先輩…っ!!

ごめんなさい…っ!!

僕が足を引つ張ったばかりに  
こんなことにい…っ!!」

麗子「そうね…反省は大事だわ

なら目を逸らさずに

この光景を脳裏に焼き付けなさい  
もう二度と同じ過ちを犯さないように  
その悔しさを次に活かしなさい」

後輩「せへ先輩…っ!!」



おほっ♡ふっ♡

麗子「私も新人の頃は熱くなつて暴走してよく上司に迷惑をかけたものよ  
だけど生きてさえいれば反省し学び成長することができるの  
だから貴方を一人前の捜査官にする為なら私は喜んで体を張る事ができるのよ」

後輩「せんぱ……僕のことをそんなに……!!  
うう……っ!先輩……っ!!」





キモチ♡

後輩「わかりました先輩……っ!!

僕もう目を逸らしませんっ!!

自分のせいで尊敬する先輩が目の前で卑劣な犯罪者に辱められているという現実を

しつかり受け止めて……っ!!

この悔しさ! 怒り! 無力感を噛みしめて!!

僕は成長してみせますっ!!

二度とこんな事が起きないようにっ!!」

麗子「それでいいわ……一歩近づいたわね  
一人前の捜査官に……」



麗子「さあ……貴方も十分楽しんだでしょう」

麗子「これは私からの最後の餞別よ」

犯人「ぬほおっ!?!」



麗子「有難く受け取りなさい……っ！」

犯人「イグツ♥」





ふへっ♡ふはははっハアハア♡♡

なにが最後の餞別だツ♡

「こんな最高級のオナホを手放すわけないだろうがっ♡」

犯人「まあ安心しなよ♥アンタが大人しくしてりや  
今後もし後輩君の命は保証してやるわ!!」

麗子「あら……なにかお探しかしら？」



麗子「貴方も人のこと言えないわね

装備品の管理はしっかりなさい

でないとこんな風に盗られちゃうわよ」

ハッ

犯人「なあああああっ!!  
いつ、いつの間につ!!」



麗子「チエックメイトね……」

後輩「せつ、せんぱい……」

犯人「おみぞれしましたああああっ!!」





ファン

ファン

ファン

こうして再びパイズリレイパーは逮捕された……

ファン

ファン



申し訳えええええつ



ごめいましてしたあああつ



後輩「おつ、俺！先輩に酷いことを○○○っ！！

ごめんなさいiiiiiiiiっ！！

許してもらえとは思っていませんっ！！

告訴するなりボコボコにするなり

好きにしてくださいiiiiiiiiっ！！！！」





後輩「もう僕には警察官でいる資格なんて……っ!!」

麗子「馬鹿ね……貴方はいずれ立派な捜査官になる  
この私が言うんだから間違いないわ」

後輩「せ、先輩……!」

麗子「地面におでこ擦りつけてる暇があったら

一人でも多くの犯罪者をその足で捕まえなさい  
今も何処かで弱き人々が助けを求めているのだから」

後輩「はっ、はいっ!! 麗子先輩っ!!」

さあ！性犯罪特別捜査班……！行くわよ……！

はいっ！！

完

さあ！性犯罪特別捜査班……！行くわよ……！